**令和３年度　事業報告書**

令和３年５月1日から令和４年４月３０日まで

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　特定非営利活動法人　京都難病支援パッショーネ

１　事業の成果

何のためにこの事業を行っているのか。

NPO法人であるので、不特定多数の人に難病患者の就労状況を知っていただく啓発活動に取り組むのは基本として持っています。

特に重要視しているのは雇用契約しているA型利用者を含む従業員全員の「幸せになる」を応援することです。「幸せになる」は抽象的な「幸せ」ではなく、脳の構造上この状態が「幸せである」を客観的に定義して、行動がそこにそぐうものであるかを常に意識して意思決定することです。具体的に成果として皆から聞き取りしていませんが、よい方向に進んでいくと思っています。

＊「幸せ」の定義は精神科医の樺沢紫苑さんが提唱される「3つの幸福」に基づくものです。

２　事業の実施に関する事項

　(1) 特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名  (定款に記載した事業) | 事　業　内　容 | 実施  日時 | 実施  場所 | 従事者  の人数 | 受益対象者  の範囲及び  人　　　数 | 事業費の金額  (千円) |
| 難病患者に対する就労支援 | 就労継続支援Ａ型事業  難病患者からの電話相談  （就労関連以外も含む）  難病患者からのメール相談  （就労関連以外も含む）  難病カフェをZoomで行い、情報発信することで難病患者の交流機会を提供する。 | 通年  通年  通年  4月 | 事務所  何処でも  何処でも  シンプティースタジオ | 36人  5人  5人  10人 | 難病患者  15人  難病者とご家族  50人  難病者とご家族  30人  難病者とご家族  30人 | 40,011 |